

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通 信

発行：大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 TEL・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



“災害は忘れる暇なくやってくる！”



4 月 11 日午前 3 時 40 分、耶馬溪町金吉地区で大規模な山地崩壊が発生しました。この災害でお亡くなりになられた 6 名の方々のご冥福をお祈りい申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

また、安否不明者の捜索にご協力いただきました自衛隊、警察、消防、建設業協会、国土交通省、

大分県、中津市、そして地元の皆様方に、厚く感謝申し上げます。

私は、今回の災害の早急な原因究明と被災地域の一日も早い復旧、復興に向けて取り組むとともに、防災・減災対策を推進し、安全で安心な住みよいまちづくりに向けて頑張ります。

■ 6 月定例議会で決まったこと。【抜粋】

第 2 回定例議会（6 月議会）は、6 月 1 日から 29 日間開催されました。平成 30 年度一般会計補正予算議案 1 件、条例議案 9 件、その他議案 3 件、人事案件 1 件、報告案件 23 件、意見書 4 件の計 41 件を審議し、意見書 1 件を除き原案どおり可決しました。

1. 平成 30 年度一般会計補正予算（第 1 号）；補正額 6,726 万円

（補正後予算額 408 億 1,332 万円）

□防災事業；4,829 万円

※耶馬溪町金吉地区の災害対応・復旧に要する経費
 ・避難所等の簡易トイレ、シャワー、土砂撤去委託、
 ハザードマップ作成委託（1012 ヶ所）

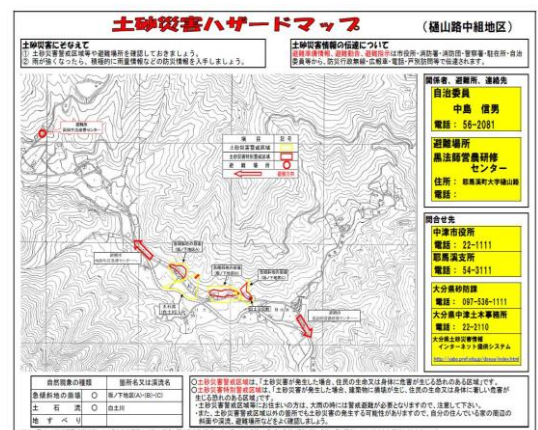
□災害被災者住宅再建支援金；600 万円

・全壊住宅 2 軒

□災害弔慰金；1,250 万円

・生計維持者 4 名（各 250 万円）

その他 2 名（各 125 万円）

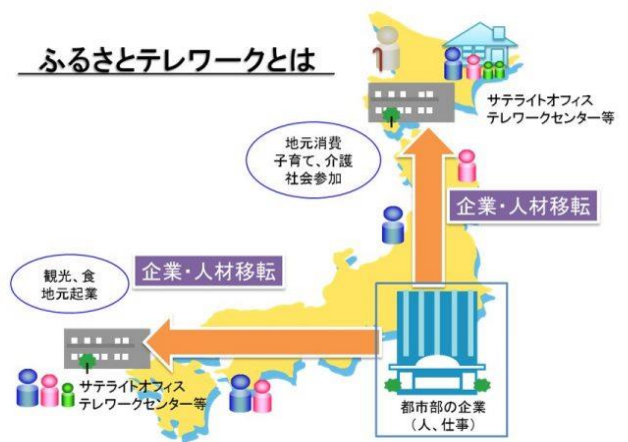


2. 平成 30 年度一般会計補正予算（第 2 号）；補正額 1 億 9,032 万円

（補正後予算額 410 億 363 万円）

□テレワーク等推進事業；214 万円

- ・ サテライトオフィスやテレワークを推進するため、地域情報化アドバイザー（森本登志男氏）を招致し、旧下毛地域の仕事の確保に取り組む。



□中津やばけい元気づくり事業；1,373 万円

- ・ 土砂災害の風評被害対策として、夏休み以降の観光シーズンの誘客を図り、福岡市を中心とした誘客 P R 活動及び耶馬溪観光ツアーの企画・販売に取り組む。
- ・ 旧下毛地域の宿泊施設に泊まった方に、お土産や食事にご利用できる 1,000 円/人の買い物クーポン券を配付（4,400 人分）

□奨学金事業；30 万円

- ・ 就学困難者に対する奨学金給付の新規奨学生を拡充する経費（7 名分）

□児童福祉施設整備事業；3,515 万円

- ・ 如水校区の児童クラブ「なずな」の施設整備に対する補助金

□中山間地域総合整備事業；191 万円

- ・ 本耶馬溪屋形地区簡易水道整備にかかる実施設計委託料

□災害復旧費

※昨年 7 月に発生した豪雨災害の復旧に係る工事請負費等の増額

- ・ 農地及び農業用施設災害復旧事業；6,071 万円
- ・ 林業用施設災害復旧事業；1,740 万円
- ・ 道路災害復旧事業；6,505 万円
- ・ 河川堤防災害復旧事業；6,842 万円
- ・ 橋りょう災害復旧事業；1,583 万円



3. 条例の一部改正

□中津市民病院事業及び診療所事業の設置等に関する条例の一部改正

- ・ 市民病院の診療科目にリハビリテーション科を追加

□中津市体育施設条例の一部改正

- ・ 中央公園ソフトボール球場や米山テニスコート等の屋外体育施設の照明施設の使用料を 30 分単位に改める。



4. 人事案件

- ・ 中津市議会副議長 恒賀 慎太郎（63 歳）6 期

5. 意見書（私たちの会派「新生市民クラブ」が提出したもの）

- ・ 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（可決）
- ・ 地方財政の充実・強化を求める意見書（可決）

6 月定例議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 災害に強い地域づくり

- (1) 耶馬溪町金吉地区の山地崩壊の原因究明
- (2) 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の安全の確保
- (3) 急傾斜地崩壊対策事業の見直し

2. 人口減少に立ち向かう

- (1) 人口問題研究所の人口推計から読み取れること
- (2) 旧下毛地域の移住促進のために住宅の確保を
- (3) 小・中学生の遠距離通学費の無償化

3. JR九州の株式の購入による経営への参画

- (1) ダイヤ改正の影響、株式の購入による経営への参画

4. 子ども医療費の無償化に向けて

- (1) 制度が充実している他市町村への転出の実態
- (2) 無償化の実施時期



1. 災害に強い地域づくり（抜粋）

（1）耶馬溪町金吉地区の山地崩壊の原因究明

＜質問＞今回の災害は、災害の誘因となる降雨などがない中で発生しました。国からも「非常に稀な現象」との見解が示される中、現在、大学などの専門家による調査が進められています。

そこで、原因究明なくして、災害復旧工事の工法や今後の防災・減災対策を講じられないと考えますが、原因が究明される時期はいつごろとなるのか伺います。



【答弁】現在、どこで地滑りが発生したか等、本工事を行うにあたっての地質調査が大分県により実施されており、8月末には、調査が完了する予定となっています。学術的見地での原因究明は、農林水産省（林野庁）や砂防学会、日本地すべり学会などで調査が行われており、現時点では、原因究明の時期は未定となっています。

先月、国土交通省や農林水産省の担当者も出席した大分県防災会議の席上で、国の英知を集めて原因究明にしっかりあたってもらいたい旨、あらためてお願いしました。

（2）土砂災害警戒区域・特別警戒区域の安全の確保

＜質問＞土砂災害防止法では、土砂災害警戒区域に指定された区域には、災害情報の伝達や迅速な避難体制の整備等を示したハザードマップの策定が義務付けられています。

現在、土砂災害警戒区域 1012 ヶ所の内、土砂災害ハザードマップを策定済み区域が 107 ヶ所（策定率 10.6%）となっています。市では、今年度中に警戒区域 1012 ヶ所のハザードマップを作成することとしています。

ハザードマップは、地域住民と一緒にワークショップ等により避難対策や防災対策を考え作成しなければ効果がないと考えますが、どのような方法で作成するのか伺います。

【答弁】基礎となるマップ(初版)を作成し、地域ごとに住民とのワークショップ(地域説明会)を行い、完成版(改版)を作成します。

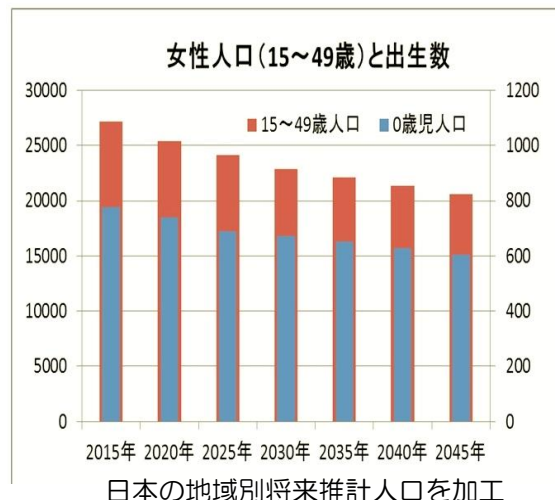
ワークショップ(地域説明会)は、危険が予想される区域の説明や避難の重要性、避難場所、避難ルート等の説明を行ったうえで、地域住民の意見を直接聞いて集約し、地域の実情に即した情報をマップに反映させるために、警戒区域に指定された全世帯を対象として実施予定です。

2. 人口減少に立ち向かう(抜粋)

〔情勢〕今年 3 月、国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)」を公表しました。

中津市の人口は、平成 27 年の 83,965 人が、30 年後の平成 57 年には 72,259 人となり、11,706 人(13.9%)の減となっています。中津市の人口減少率は、大分市に次いで 2 番目に低くなっています。

しかし、子どもの数は減少傾向に入り、15～49 歳の女性人口も減少してきます。



(1) 国立社会保障・人口問題研究所の人口推計から読み取れること

＜質問＞人口減少対策には、子育て世代をいかに増やしていくかが喫緊の課題です。子育てしやすい環境づくりはもとより、移住・定住対策や企業誘致に数値目標を定めて推進して行く必要があります。また、小倉まで快速で 50 分という地の利を活かした通勤者、通学者支援も人口減少対策に効果があると考えますが如何ですか。

【答弁】現時点で「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に掲げた人口目標をクリアしており、また県内他市と比較しても人口減少を最小限に抑えるなど、一定の成果を挙げております。

しかし、中津市においても、長期的に見て人口減少は避けられない事態だと認識しており、その減少を最小限に抑えるため、子育て支援・雇用確保・UJ ターンの推進など、若者人口の確保につながる施策を一層進めていきます。

(2) 旧下毛地域の移住促進のために住宅の確保を

＜質問＞今、旧下毛地域の人口減少率をいかに低減していくかは喫緊の課題となっており、移住・定住対策の促進が必要と考えています。

移住希望者の方から、旧下毛地域に住みたいけども、空き家や貸家が少ないとの声を聞きます。そこで、移住希望者のために十分な住宅を確保すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】平成30年4月の空き家バンクへの空き家登録件数は38件、空き家は旧下毛地域で234件、その内利活用可能な健全空き家は124件です。

それに対して、移住希望者は空き家バンクへの登録世帯数で183件あり、空き家の登録件数が不足している状況にあると言えます。

平成 28・29年度は、移住支援チームや移住相談室の掘り起しにより、各 28 件の登録数となっており、本年度も引き続き空き家の掘り起しを行い、移住希望者のニーズに応えられるように努めていきます。



(3) 小・中学生の遠距離通学費の無償化

＜質問＞三光を除く旧下毛地域にはスクールバスや路線バス、コミュニティバス等を利用して遠距離通学をしている児童生徒がいますが、学校間で個人負担の格差が生じています。通学にお金がかかる地域に移住、定住促進を図ることは困難であり、交通費の全額補助若しくはスクールバス（タクシー）を走らせるべきと考えますが如何ですか。

【答弁】これまで、旧下毛地域の小・中学校の通学における交通手段の確保や保護者負担の軽減を実施していますが、制度のあり方、施策の効果などを総合的に勘案し、適正な方法を考えてと思います。



3. JR九州の株式の購入による経営への参画（抜粋）

〔情勢〕過去最大規模の減便となった3月のJR九州のダイヤ改正は、鉄道事業の合理化を目的に、九州全体で1日当たり117本の列車を削減し、県内では日豊線、久大線、豊肥線の3路線で普通電車と特急電車の計38本を廃止しました。

私が調査したところ、中津駅を発着する上り・下りの普通電車は全区間廃止10本、一部区間廃止17本、一部区間延伸10本、特急電車は全区間廃止3本、一部区間廃止1本となっており、通勤・通学者から苦情の声が寄せられています。

(1) ダイヤ改正の影響、株式の購入による経営への参画

＜質問＞完全民営化したJR九州に対して、株主として合理化策を牽制し、ダイヤや路線維持につなげる動きが必要です。そこで、JR九州の経営へ参画するため株式の購入を検討すべきと考えます。また、九州各県・市町村に呼びかけて発言権を高める必要があると考えますが如何ですか。

【答弁】JR九州の経営に関して自治体が発言権をもつためには、株式取得も一つの方法だと考えますが、営利を求める民間企業に対して、株主として逆行する経営判断を求めることとなり、十分な効果が見込めるかは不透明です。

JR九州のダイヤ改正問題は、今後も関係自治体と連携し、広域的な枠組みを通じて、働きかけを行っていきます。

4. 子ども医療費の無償化に向けて

(1) 無償化の実施時期

＜質問＞日経新聞の調査によると、全国1741市区町村の子ども医療費の通院の無償化は小学生までが95.5%、中学生までが89%と2年前から拡充されています。

3月議会では、システム改修に6ヶ月ほどかかるとの答弁を頂きましたが、来年4月実施を考えるとタイムリミットが迫ってきています。そこで、いつの時点で無償化を実施するのか伺います。

	2016年4月		2018年4月	
就学前	202	11.6%	79	4.5%
小学生まで	31	1.8%	114	6.5%
中学生まで	1126	64.7%	1008	57.9%
高校生まで	379	21.8%	536	30.8%
18歳～22歳	3	0.2%	4	0.2%
合計	1741	100.0%	1741	100.0%

※2018.6.7 日本経済新聞データより

【答弁】医師会や市民病院の小児科医にもご参加いただく協議会を設置する中で、持続可能な小児救急診療体制や予防医療方策等を検討しながら、無償化を協議していきます。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月 日	曜日	活 動 内 容
4月1日	(日)	新大塚町子ども神輿祭り、大塚町春祭り、初孫のお宮参り
4月3日	(火)	薬師寺春彼岸法要、まちづくり通信第29号の配付
4月7日	(土)	蠣瀬川河口の堤防調査
4月8日	(日)	東西蠣瀬町春祭り、軽音サークルチャリティーコンサート
4月9日	(月)	春の交通安全週間交通指導(13日まで)
4月10日	(火)	明蓮寺仏教壮年会総会、友好都市交流推進研究会
4月11日	(水)	城北中学校入学式、耶馬溪町金吉の土砂崩れ現地調査
4月12日	(木)	北部小学校入学式、耶馬溪町土砂崩れ不明者捜索活動(18日まで)
4月15日	(日)	米山町春祭り
4月20日	(金)	社民党中津支部幹事会、議会運営委員会
4月21日	(土)	北部校区なごさサロン総会
4月22日	(日)	新大塚町町内一斉水路清掃活動、新大塚町草ソフトボール練習
4月23日	(月)	耶馬溪金吉地区山崩れ安否不明者捜索
4月27日	(金)	情報通信技術推進特別委員会
4月28日	(土)	耶馬溪町土砂崩れ犠牲者の合同葬儀、中津南高32回生プチ同窓会
4月29日	(日)	新大塚町農業関係水路清掃
4月30日	(月)	いずみの園創立40周年記念式典・祝賀会
5月1日	(火)	県政市政報告会in如水
5月7日	(月)	耶馬溪金吉の土砂崩れ工事現場の現地調査
5月9日	(水)	地方自治講演会
5月11日	(金)	情報通信技術推進特別委員会、市議会全員協議会「耶馬溪の土砂災害について」
5月13日	(日)	新大塚町内運動会
5月14日	(月)	議会運営委員会視察(15日まで、加西市、井原市)
5月15日	(火)	県政市政報告会in豊田、北部校区自治委員会総会&懇親会
5月16日	(水)	日田往還(中津街道)の修復に関する打ち合わせ
5月19日	(土)	北部校区なごさサロン、耶馬溪につぼん酒をつくる会田植え
5月20日	(日)	鶴市花傘鉾県知事表彰受賞記念祝賀会、蠣瀬川の清掃活動
5月21日	(月)	谷口智則絵本原画展、大江東ガードレール設置・大塚町道路工事の要望書提出
5月22日	(火)	北部公民館運営協議会、6月議会一般質問の執行部との打ち合わせ
5月24日	(木)	北部校区青少年育成協議会総会、東蠣瀬農業用水路の補修要望
5月26日	(土)	なかつ耶馬溪活き域きネット総会、農家民泊「みどりさん家」田植え体験(27日まで)
5月27日	(日)	中津市職員退職者会総会
5月28日	(月)	県政市政対策会議、6月議会議案質疑受付開始
5月29日	(火)	議会運営委員会、会派会長会、北部校区防災士協議会設立準備会
5月30日	(水)	自治体議会課題検討会議
6月1日	(金)	6月議会開会
6月2日	(土)	新大塚町平成会6月例会
6月4日	(月)	大分県知事県政報告会
6月8日	(金)	会派打ち合わせ、議会運営委員会
6月9日	(土)	天までとどけホタルコンサート、北部校区なごさサロン役員会
6月12日	(火)	6月議会一般質問(15日まで)、北部校区防災士協議会設立準備会役員会
6月16日	(土)	北部校区なごさサロン、農家民泊「みどりさん家」看板設置
6月17日	(日)	蠣瀬川左岸の草刈り、新大塚町防犯パトロール
6月20日	(水)	6月議会議案質疑、自民党憲法改正草案検証学習会
6月21日	(木)	6月議会産業消防委員会
6月22日	(金)	6月議会総務企画委員会、中津商工会議所事業報告会、中津まちなみ会総会
6月24日	(日)	新大塚町皆作まつり、未来デザイン宣言ハピカム
6月26日	(火)	北部校区防災士協議会設立総会・研修会、会派打ち合わせ
6月27日	(水)	会派会長会、議会運営委員会、6月議会自由討議
6月29日	(金)	情報通信技術推進特別委員会、6月議会委員長報告、質疑、討論、採決
6月30日	(土)	明蓮寺仏縁結び法座、やばけい未来スタートアップ会議、男女共同参画記念講演会

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャルサイトで検索して下さい。

編集後記(ひとりごと) 災いは、突然にやってきます。いつ起きるのかわかりません。災いは、自分には起きないだろうと思ってしまうもの。けれども災いは、必ず自分にも起きてしまうもの。これから「防災」を進めるためには、この感覚が求められているのではないかと思います。(まさとし)



水路清掃活動



県政市政報告会 in 如水



地方自治講演会



新大塚町内運動会



につぼん酒をつくる会



農家民泊田植え体験



北部校区防災士協議会総会